



JOCA Kyushuだより

特定非営利活動法人九州海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association of Kyushu

謹 賀 新 年

皆様におかれましては希望に満ちた新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本年も国際協力事業の支援や国際理解教育の啓発、地域社会活動に取り組んで参りますので、尚一層の皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

本年が皆様にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。

九州海外協力協会 会長 山部 征三

地球生活体験学習

10月14日(日)にJICA九州国際センターで、毎年恒例の地球生活体験学習を実施しました。今年度の参加者は、北九州地域在住の小学生を含む家族125人、JICA研修員25人の計150人でした。昨年の110人から大幅に増えて大規模なイベントになりました。

午前中は、「マイバック」、「人間双六」、「民族衣装」と「シリア」の4つのブースを運営しました。「マイバック」では無地のエコバックに自分の好きな絵を描き、「人間双六」は自分が駒になって部屋一面の双六マスを移動してクイズに答えていきました。「民族衣装」では100着の民族衣装を用意して試着し、「シリア」ではJICA教師海外研修参加者の先生方とオーラジャンケンを行いました。

昼食の後は、ウガンダ出身のティムさんのアフリカ太鼓演奏と、北川OGによる世界をイメージしたエアロビクスを行い、子どもたちだけでなくお母さん方が一生懸命踊られていたのが印象的でした。親子で楽しめるイベントになったようでした。



お母さん似合う？



テレビの取材も！



アフリカ太鼓に挑戦！！

教えて！あなたの国のこと ～ことばと子育ての面白体験～

11月11日(日)北九州市立国際村交流センターにて、日本における母国文化継承、異文化理解支援等多文化共生に関する行事を開催しました。北九州地域在住のブラジル、中国、マレーシア、オーストラリアのお父さん・お母さん達による子育てや文化等についての発表、パネルディスカッションを行いました。その後の多文化体験ティータイムでは、講師も参加者と一緒にチャイやお菓子を食べながら情報交換やネットワークづくりを行っていました。

当日の参加者は76人(内、託児24人)で、託児施設とティータイムが好評でした。参加者は、外国籍市民を通じて異文化のを知り、今後の参考にしたいという意見を多くいただきました。ご協力いただいた託児・調理ボランティアの皆様、パネラーの方々など関係者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



パネルディスカッション中



各国の料理を用意しました！



託児施設の風景

北九州エコライフステージ2007

10月20日(土)、10月21日(日)に北九州市役所横広場で行われた「北九州エコライフステージ2007」にブースを出展しました。このイベントでは、北九州市が“世界の環境首都を目指して～温暖化から地球を守ろう～”というテーマで、企業やNPO等が環境活動に関するブースを運営しました。

当会は、青年海外協力隊隊員の活動パネルの展示と、エコバック作成のワークショップを行いました。エコバック作成のために来た子供達のお父さんとお母さんが、活動パネルを見学しスタッフに質問をしていました。

両日合わせて約600人の方々が当ブースに来訪し、大忙しの2日間でした。



ブースは大盛況！！

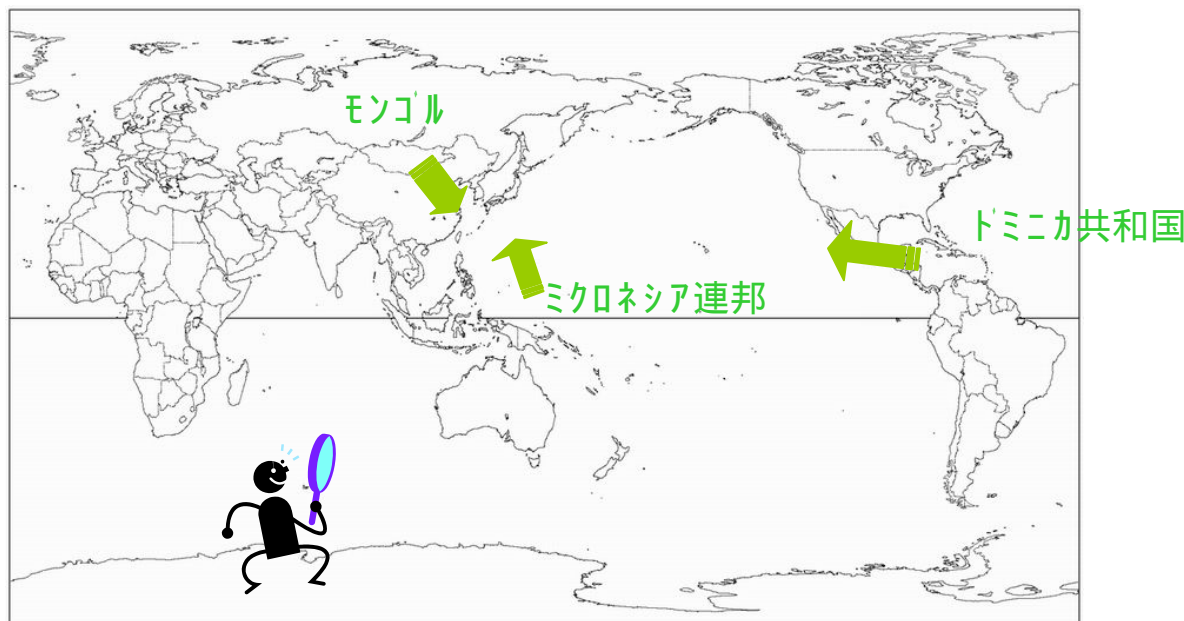


行列も出来ました！



どう？私のエコバック

ワールドレポート！ 環境特集 ~ JOCA Kyushuから世界に旅立った3人より ~



南の島、ミクロネシア連邦ポンペイ島よりこんにちはー！

青年海外協力隊 ミクロネシア連邦 有吉 一人

私はミクロネシア連邦にてPCインストラクターとして活動している有吉です。この国は、大きく分けてポンペイ島、コスラエ島、チューク島、ヤップ島の4つの島で構成され、私はポンペイ島で活動しています。一つの国ですが島によって全く文化が異なるところが面白く、人々はフレンドリーで好印象です。知らない人でも気軽に挨拶できる素敵な環境です。また、島全体が家族みたいなもので、知っている人とすれ違うときは、たとえ車に乗っていても声を掛け合う、なんとも微笑ましい光景をよく見かけます。どの島も安全で、多分現在の日本以上に安全かもしれないです。

皆さんは南の島という何を連想されますか？私は海でした。海は勿論あります。ただポンペイ島では泳ぐことができません。昔は可能だったようです。なぜでしょう？答えは「ゴミ」です。ローカルフード中心の生活のころは殆どゴミが出ることはなかったようです。でも現在の輸入中心の生活になってから、大量のゴミが出るようになりました。しかし、ゴミを処理する施設がありません。海にゴミを捨て続けることで海が汚れ、その結果水泳禁止になりました。少しずつ改善はされてきているのですが、ゴミに対する知識はまだです。

アメリカからの援助によって、物資に関しては全く困ることがありません。ただこの援助もいつまでも続くわけではないので、自国力による独立がミクロネシア連邦としての大きなテーマのようです。



島から見た風景



ポンペイ島と筆者



ゴミ山

ウランバートルからサインバイノー！

青年海外協力隊 モンゴル 小田 真之介



私は、青年海外協力隊員として2006年3月に**モンゴル国**ウランバートルに派遣されました。今回、私の配属先であるウランバートル市都市保全公共施設庁について紹介します。現在の社会問題の一つに市街地・アパート群にあるゴミ収集所の景観・衛生状態の悪化が挙げられます。ゴミ収集のシステムは、捨てて良い日時が決まっているわけではないのです。住民は好きな時間に捨てることができ、常にゴミが存在するという状態です。更に、外にあるゴミは多くの人々に「ここにはゴミを捨てていいんだ」という考えを植え付け、ゴミがゴミを呼び、ゴミ山が放置されるという状況になってしまいました。かといって行政が収集を怠っているわけではなく、今までは一日に一回の収集だったのが、状況を見かねて一日に二回の収集に踏み切りました。しかし、それらの場所はゴミ捨て場であると住民たちの頭の中にはインプットされてしまっているので、収集しても追いつきません。

そこで、JICAの協力を得て収集方法改善に乗り出しました。路上に放置されたゴミの山を一掃することを目的として、また収集効率を良くするために次の2項目を打ち出しました。

1. ゴミの収集回数を週に3回として、収集日時を定める
2. それらの方策を住民たちへ徹底させる

もともと、住民たち自身もゴミの山の状況を憂いながらゴミを捨てていた、住民たちが今回の改善策を知りさえすれば理解は早くゴミの山は次々に消えて行き、一定の成果を得られたのではないかという印象を私は持っています。まだまだ多くの社会問題がありますが、モンゴルが自分達のために自分達自身で解決していける可能性を感じさせられたプロジェクトでした。



田舎の風景

サントドミンゴよりこんにちは！

～ 緑色の国からの報告～

JICAドミニカ共和国 調整員 丸田 隆弘

ドミニカ共和国は南北アメリカの最貧国といわれるハイチ共和国と島を2分しています。衛星写真で見ると国境がくっきり緑色と土色に分かれています。私は緑色の国に住んでいます。ここは一年を通じて海洋性熱帯気候で比

較的過ごしやすく、ハチドリやインコ、熱帯植物が見られます。

この国にも気候変動の波が押し寄せています。昨年10月末～12月上旬にかけて2個の熱帯性暴風雨が当国を通過し、甚大な被害をもたらしました。本来この時期は乾期であり、このような大雨が降る事は無かったようです。

環境問題は、日本以外の遠い国のことのように考えていましたが、今年の日本の猛暑のように、いまや世界共通の緊急課題になっているようです。

私達にとって2008年という年は、自然がこれまで人類に何を与え続けてくれていたかを再認識する年になりますように



ドミニカ共和国から見えるカリブ海

平成19年度秋青年海外協力隊&シニア海外ボランティア体験談&説明会結果報告！

10月1日から11月19日まで、平成19年度秋JICAボランティアの募集がありました。期間中は青年海外協力隊479名、シニア海外ボランティア181名が説明会に参加されました。会場では参加者の熱気に包まれておりましたが、残念なことに参加者数は例年に比べ約3割減少する結果となりました。次回の春募集では挽回できるよう、しっかりとした準備をしていきます。今回、ご協力いただきました方には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

【シニア海外ボランティア体験談&説明会】

市町村名	実施日	会場名	参集者数
佐賀市	10月2日	アバンセ	6
長崎市	10月3日	長崎ブリックホール	10
北九州市	10月4日	小倉興産KMMビル	12
福岡市	10月9日	アクロス福岡	32
熊本市	10月12日	熊本市国際交流会館	21
鹿児島市	10月16日	鹿児島市勤労者交流センター	23
宮崎市	10月17日	宮崎市民プラザ	16
北九州市	10月24日	小倉興産KMMビル	17
大分市	10月25日	OASISひろば21	9
福岡市	10月30日	アクロス福岡	35
		合計	181

【青年海外協力隊体験談&説明会】

市町村名	実施日	会場	参集者数
佐世保市	10月1日	アルカスSASEBO	22
福岡市	10月2日	アクロス福岡	48
長崎市	10月2日	長崎ブリックホール	16
佐賀市	10月3日	アバンセ	18
熊本市	10月4日	熊本市国際交流会館	16
北九州市	10月5日	小倉興産KMMビル	24
大分市	10月5日	OASISひろば21	26
久留米市	10月10日	久留米商工会館	19
鹿児島市	10月10日	鹿児島市勤労者交流センター	35
宮崎市	10月12日	宮崎市民プラザ	14
熊本市	10月13日	くまもと県民交流館	29
鹿屋市	10月13日	鹿屋市市民交流センター	11
福岡市	10月16日	アクロス福岡	48
大分市	10月18日	OASISひろば21	7
北九州市	10月24日	小倉興産KMMビル	20
長崎市	10月25日	長崎ブリックホール	22
鹿児島市	10月26日	鹿児島市勤労者交流センター	21
福岡市	10月29日	アクロス福岡	56
宮崎市	10月30日	宮崎市民プラザ	13
佐賀市	10月31日	アバンセ	14
		合計	479

平成20年1.2.3月の予定

- 1月4日 御用始め
- 2月3日 長崎県ボランティア家族連絡会
- 2月3日 熊本県ボランティア家族連絡会
- 2月8日 協力隊体験を伝えようワークショップ
- 2月17日 鹿児島県ボランティア家族連絡会
- 2月19日 JICA青年研修事業
- アセアン混成、環境若手リーダーから3月7日
- 2月23日 JICA中高生エッセイコンテスト表彰式
- 3月1日 インターナショナルスプリングキャンプ

「地球のステージ」JICA版

10月20日(土)、都久志会館大ホール(福岡市)にて、世界の紛争・被害地で出会った様々な人々や出来事を「オリジナルの音楽と映像」で歌う「地球のステージJICA版」を開催し120名が来場されました。来場者は、世界55カ国で活動を続けてきた医師・桑山紀彦氏(NPO法人「地球のステージ」代表理事)が見てきた国際協力の現場を体感していました。

イベント終了後は、海外でボランティア活動を目指している方々に対し、JICAボランティア募集説明会を開催致しました。ボランティア経験者が、海外での体験談発表を行い、参加者からの質問に対し丁寧に答え、不安を解消させていました。

叙勲おめでとうございます！

長年の功労が称えられて、九州海外協力協会の監事 佐々木正躬氏が、
今秋の叙勲において「瑞宝双光章」を受賞されました。

心よりお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍とご健勝を
お祈り致します。



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目28-4 陣内ビル2F
TEL: 092-415-6536
E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

会員募集のお知らせ！

当会の活動に、ご賛同頂ける団体・個人を、募集致しております。会員の方には「JOCA Kyushuだより」を送付する他、当会主催、共催のイベント情報をご案内致します。

	正会員	賛助会員
個人	¥3,000	¥2,000
団体	¥10,000	¥10,000
法人	¥30,000	¥10,000

ご関心のある方は、当会までお問い合わせください。

～情報・ご意見お寄せ下さい～

「JOCA Kyushuだより」では、皆さまからのご意見、各種情報をお待ちしております。国際交流や国際協力に関する有益な情報であれば何でもOKですよ！！お気軽にお寄せください！

発行 特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目28-4 陣内ビル2F
TEL: 092-415-6536
FAX: 092-415-6518
HP: <http://www.joca-kyushu.or.jp/>
E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

